



# 3月園だより

2023年3月  
尚徳福祉会  
沼袋西保育園  
園長

## 社会性が発達するので、 しつけも本格的にできるようになる



主婦の友社 3～6歳 能力を伸ばす 個性を光らせる(2010年)  
東京大学名誉教授 汐見 稔幸 氏

厳しかった寒さもようやくゆるみ、周りの木々の芽吹きや園庭の桜の蕾の膨らみが春を告げて、いよいよ本年度もまとめの月を迎えました。

一年前の子どもたちの姿を思い返し、一人ひとりの表情を改めて見ると、自信とたくましさを感じられます。本年度もあと少し、子どもたちは進級・入学への期待に胸を膨らませ過しています。子どもたちの期待が大きな意欲につながるようクラスでも準備を進めて参ります。一番のお兄さんお姉さんとして頑張ってくれた、ゆり組さんと過ごせるのもあとわずかとなります。お別れ遠足、お別れ会と保育園生活最後の行事で楽しい思い出を心に刻んで、新しい学年への一歩を踏み出して欲しいと思います。

この一年間、至らない点もあったかと思いますが、いつもあたたかく見守り続けていただいた保護者の皆さま、ご理解ご協力いただき、本当にありがとうございました。職員一同心より感謝申し上げます。



### ☆3月の予定☆

- 1日(水) 避難訓練
  - 3日(金) ひなまつり
  - 6日(月) 乳児身体計測
  - 7日(火) 幼児身体計測
  - 8日(水) 0歳懇談会・卒園式総練習
  - 9日(木) 0歳児健診・1歳懇談会
  - 10日(金) 2歳懇談会
  - 18日(土) 卒園を祝う会(ゆり組)
  - 23日(木) 0歳児健診
  - 24日(金) 幼児お別れ遠足
  - 29日(水) 5歳児5園交流(ゆり組)
  - 30日(木) お別れ会
- ※13日の月曜日、英語であそぼう(幼児組)

### ☆4月の主な予定☆

- 3日(月) 入園進級を祝う会(幼児組)
  - 5日(水) 避難訓練
  - 10日(月) 0歳懇談会
  - 11日(火) 幼児身体計測
  - 12日(水) 乳児身体計測
  - 13日(木) 春の健診(幼児組) 0歳児健診
  - 19日(水) 1歳懇談会
  - 20日(木) 2歳懇談会
  - 27日(木) 春の健診(乳児組) 0歳児健診
  - 28日(金) 子どもの日
- ※10・24日の月曜日、英語であそぼう(幼児組)

### ☆お知らせ・お願い☆

○保育施設に入る際は手洗いまたは手指消毒をお願いし、発熱等体調不良が見られる方は送迎を控えていただきますようお願いいたします。

○3/9に予定しておりました卒園を祝う会総練習を3/8(水)に変更させていただきます。ご迷惑をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

○3月に乳児組クラス懇談会を行います。ZOOMで開催いたします。日程近くになりましたら、ZOOMのIDとパスワードをお送りいたします。16時15分から行います。事前にお迎え可能な方はご協力をお願いいたします。音声のみの参加も可能です。沢山の方にご参加いただければと思います。

○3/20(月)～各クラスとも進級に伴って移行期間に入ります。環境が変わることで不安なことも出てくるかと思えます。お子さま一人ひとりの気持ちに寄り添いながら進めてまいります。気になることがございましたら担任までお声掛け下さい。保育室の移動にあたり、3/17(金)までに一度すべての荷物のお持ち帰りをお願いいたします。移行に関するお知らせは、後日配布予定のお手紙でご確認下さい。靴箱は4/1～移動となります。

○3/25(金)は幼児組お別れ遠足です。慣れ親しんだ〇〇公園でゲーム等をして楽しみます。

○年度の変わり、児童票、緊急連絡先、保育時間、土曜保育、家庭保育等に変更のある方は担任までお申し出ください。

### 約束がわかるから しつけも本格化する

5～6歳になると、本格的にしつけを始めることができます。というのも、4歳から5歳にかけて、自分がどう見られているかという自意識が芽生えて、「変な子だと思われたくない」という思いが出てきますし、5～6歳になると「親がこわいから」というのではなく、そのルールは必要だ」という理解力がつき、さらに「約束を守ることもわかってくるので、しつけもすんなり進むようになるからです。

「電車の中で大きな声を出してはいけません」と言われても、3歳児はなぜなのか理由がよくわかりません。しかし、5歳ともなれば「みんなに迷惑なかな」とわかってきます。頭ごなしに「こうしなさい」と命令するのではなく、理由をきちっとわかるように説明して、社会のルール、公共のルールを教えてください。

### 役に立つことをうれしく感じる

さらに、「共感する力」もしっかりついてくるので、「役に立つ」ことがうれしくなります。手伝いをした時に、「助かるわ」「わあ、じょうずだったね。うれしいわ」とお母さんから評価されると、子どもは自分を誇らしく思うのです。子どもを「お客さま」ではなく、「わたしも家族の一員として、家事を担っているんだ」と思えるような育て方をし、自分を誇らしく思えるチャンスをたくさんつけてあげてください。

いまは、子どもをお客さま扱いして、「早く食べてね」「もう片付けるわよ」と親が全部してしまうことが多いのですが、5～6歳の子どもなら十分に手伝えます。多少手間がかかっても手伝わせましょう。

手伝ったことをほめすぎる必要はありませんが、「ありがとう」「助かるわ」と感謝されると、自分は役に立つ人間だとわかり、子どもはうれしいのです。これは、「わたしは価値のある人間だ」「だから自分をたいせつにしよう」という自尊心を育てることにつながっていきます。

### 友だちの中で役に立つか 必要とされているか

4～5歳のころからは家庭の中だけでなく、「友だちの中で役に立つか、必要とされているか」が子どもにとってだんだんと大きな課題となってきます。

友だちから遊びに誘われたり、遊びの中でアイデアを出して注目されたりして、仲間の一員としての役割を果たしたという手ごたえがあると、自分も役に立ち、必要とされ、認められていると実感できます。

社会性とは、人間関係の能力です。子どもは親や身近な大人とのかかわりから始めて、3歳ごろから友だちと遊び始め、しだいに「友だちと遊ぶのは楽しい」「友だちっていいな」と思うようになり……と、発達の段階に沿って少しずつ他者とのかかわりを学んでいくものです。

現代人の悩みの多くは人間関係といわれています。ですから、家庭で子どもの心をしっかり受け止めながら、友だちといっしょに体力も知力も使って遊べる環境をつくってあげてほしいと思います。

社会性は集団で遊ぶことによって、いちばん大きく発達するのです。

### 友だちとたくさん遊んでいれば 小学校生活も心配ない

幼稚園や保育所を卒園すれば、小学生です。一段と本格的な集団生活が始まります。子どもたちも親も、小学校生活がちゃんと送れるのか、不安で緊張していることでしょう。

でも実は、こうやって集団でたくさん遊んで、約束やルールを守ることがわかったり、友だちの中で役に立ったり認められたりする経験があれば、就学前の子どもとしては十分に社会性が発達しているということです。小学校生活には何の心配もありません。

もう小学校入学の準備はできているということです。

友だちとじょうずにかかわることができると、長期にわたる学校生活にもうまく適応でき、結果的には学習面でもよい結果が得られるでしょう。

文字や数の教育といった目先のことにまどわされず、たくさん友だちと遊ばせて、じっくり子どもの社会性を育ててあげてください。